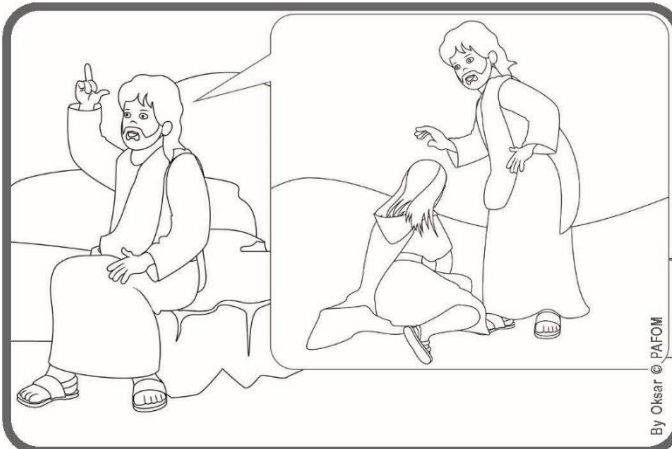
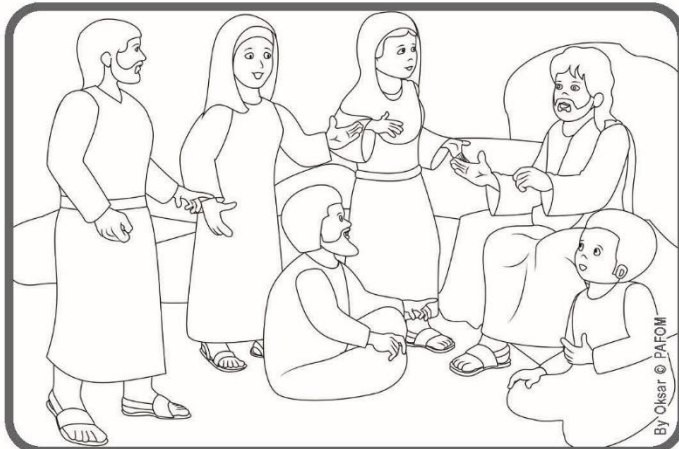




あいするためのところを かみさまください！

かみよ、わたしのうちにきよいところをつくり
あたらしくたしかなれいを、さずけてください。

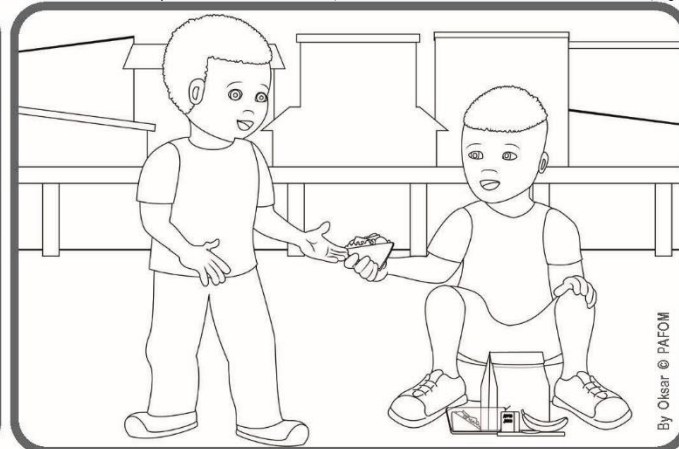
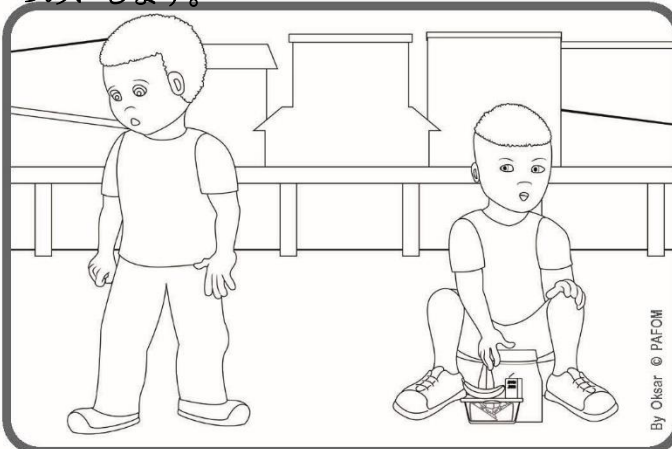
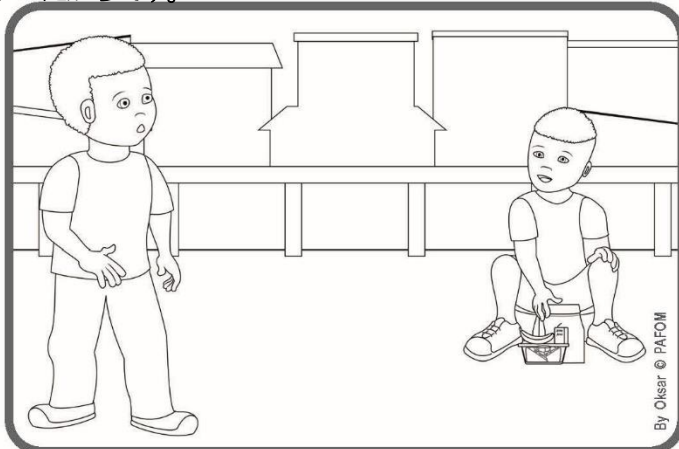
(しへん、5 1しょう1 2せつ)



たくさんのひとがイエスさまをしり、はなしをききたいです。かれがたいせつなひとで、しはいしているひとからかいほうしてくれる、ずっとまっていた、ちからあるおうだとわかったからです。

でもイエスさまは、ちからでしはいするのではなく、たすけるため、うけいれるため、みみをかたむけるため、つかえるためにきたということをせつめいします。

でもそのためには、きよく、しょうじきなところで、イエスさまのみことばをきかなくてはなりません。かみさま、あいすることができる、きよいところをください。とねがひましょう！くるしいなかでも、このよをあいするつよさをくださるでしょう。



あるひ、がっこうでやすみじかん、おかあさんがじゅんぴしてくれたおやつをたべようとしたとき、めをあげてみると、ひとりのともだちがなにももってきていなくて、かなしそうにしているのに、きづきました。

ぼくはしらないうりをしてたのに、ちがついてきて、もし、のこっていたらわけてくれないかときました。ぼくはすぐ、だめとしました。おなかがすいていたから！そしたらなにもいわずに、むこうにいってしまいました。

ぼくはもうたべられなくなりました。そのともだちをよんでおやつをわけてあげました。ともだちはぼくにたくさんありがとうといってたけど、ぼくのころはそれよりもともだちのなかのイエスさまをあいせたので、しあわせでした。